

平成 21 年 11 月 5 日

会社名 中越 パルプ 工業 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 原田 正文
 (コード番号 3877 東証、大証、各第 1 部)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 加藤 明美
 (TEL. 0766-26-2404)

特別損失の発生および平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異、通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績の動向を踏まえ、通期業績予想を修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 特別損失の発生および内容

- (1) 固定資産除却損 (連結-189 百万円、個別-188 百万円)

当社および連結子会社保有の固定資産の除却損および撤去費用として計上しております。

2. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想との差異 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	53,000	900	400	100	0.86
実績値(B)	49,498	1,273	926	407	3.50
増減額(B-A)	△3,502	373	526	307	
増減率(%)	△6.6	41.5	131.5	307.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	58,982	2,362	1,662	1,008	8.65

3. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想(A)	108,000	3,300	2,200	1,000	8.58
今回修正予想(B)	100,000	2,500	1,800	800	6.86
増減額(B-A)	△8,000	△800	△400	△200	
増減率(%)	△7.4	△24.2	△18.2	△20.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	110,241	2,964	1,816	632	5.43

4. 平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想との差異（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	46,000	700	300	100	0.86
実績値(B)	42,732	945	619	227	1.96
増減額(B-A)	△3,268	245	319	127	
増減率(%)	△7.1	35.0	106.3	127.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	51,075	1,938	1,248	693	5.96

5. 平成22年3月期通期個別業績予想の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想(A)	93,000	2,900	1,900	900	7.72
今回修正予想(B)	86,000	2,000	1,350	600	5.14
増減額(B-A)	△7,000	△900	△550	△300	
増減率(%)	△7.5	△31.0	△28.9	△33.3	
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	95,099	2,533	1,358	409	3.51

6. 差異および修正の理由

当第2四半期連結累計期間は企業収益悪化に伴う需要減少の影響を受け、売上高は大きく減少しました。このため減産強化による市況の維持に努めたこと、コスト面では原燃料価格が一時の高騰期から落ち着きを取り戻したことと予想を上回る円高の進行などにより、前回予想を上回る営業利益・経常利益・純利益を確保できました。

通期の連結業績予想については依然紙需要の回復が不透明で減販・減産が継続し、原燃料価格の一部に反騰の兆しがみられるなど厳しい経営環境が予測されますが、緊急収益対策による徹底したコストダウンを推進し、ほぼ前期並の利益を確保できる見込みです。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上